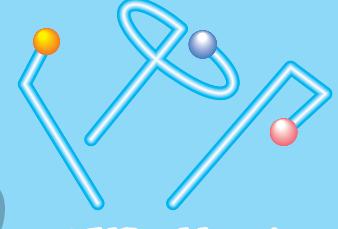


せん だん



希望・夢・愛

一人も泣く人のいない一人残らずの人が喜ぶ社会づくり

新緑の候 日頃より、社会福祉法人一れつ会、関係事業所に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

当法人は、昨年度途中で採用となつた4名の職員と、今年度加わつた6名の新入職員を迎へ、242名の職員集団でスタートいたしました。

新年度を迎えるこの時期に、全世界が新型コロナウイルスという経験したことのないような規模の健康不安や大きな経済的弊害をもたらす見えない敵と戦わなければならぬ事態に直面しています。日本各地においても感染報告が発表され、4月7日に感染が拡大している地域に対し緊急事態宣言が発令されました。この福山市においても発症が連日のように確認され、いつ誰が発症してもおかしくない危機的状況の中で、当法人においてこれまでも感染症防止対策に重点を置き、利用者支援に取り組んでおりますが、各地の福祉施設での感染拡大の報道を受け、今以上のさらなる対策を検討し、進めていかなくてはいけない時期にさしかかっています。当法人としても現在サービス提供を継続できるよう職員一同徹底した対応を行い、感染防止に努力してまいります。まだ先の見えないこの事態を皆様とともに乗り越えていけるよう取り組んでまいりたいと思います。今後も温かいご指導・ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願ひ申し上げます。

社会福祉法人 一れつ会 理事長 小林智久

社会福祉法人 一れつ会



〒720-2419 福山市加茂町字上加茂811番地
TEL : (084)972-5544 FAX : (084)972-5549 IP電話 : 050-3821-0740
HP : <https://www.ichiretsukai.jp> E-mail : itiretu@h2.dion.ne.jp

●事業所一覧

- せんだんの家（生活介護、就労継続支援B型）
- いこいの家（施設入所支援、生活介護、短期入所、日中一時支援）
- ウイズ（就労継続支援A型）
- ほほえみ（生活介護）
- 居宅介護支援センター和らぎ（居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援）
- ほつと（一般相談支援事業、特定相談支援事業、障害児相談支援事業）
- しんぶおにい（生活介護、就労継続支援B型、日中一時支援）
- 春日寮（施設入所支援、生活介護） かすが（短期入所、日中一時支援）
- 青葉（生活介護、就労継続支援B型、就労移行支援、自立訓練（生活訓練））
- いすみ（共同生活援助（グループホーム））
- かがやき（放課後児童クラブ）

新入職員紹介

新しく一れつ会の仲間になった職員を紹介します。 ①配属先・職名 ②一れつ会に入った動機・きっかけなど

奥田 空音 (おくだ そらね)



①いこいの家・生活支援員
②一れつ会でアルバイトをしていたときに、利用者さんが楽しそうにされている様子を見て、私も笑顔になってもらうことのできる支援をしたいと思いました。

能宗 茉由 (のうそう まゆ)



①いこいの家・生活支援員
②大学生の頃に春日寮に実習へ行き、利用者さんと関わることが楽しく、職員として利用者さんの毎日の生活を支援したいと思い入職しました。

向井 裕亮 (むかい ゆうすけ)



①いこいの家・生活支援員
②私が一れつ会を志望した理由は、受容という指導方針に共感したためです。受容することは、利用者さんの自尊心を回復させるだけでなく、自分らしさの発揮につながり、大切なことであるということに共感したからです。

高月 正恵 (たかつき まさえ)



①しんふおにい・事務員
②また、一れつ会で働くことになり、とてもうれしく思っております。このご縁を大切に日々の業務と利用者さんとの関わりを大切に頑張ります。

渡邊 将圭 (わたなべ まさし)



①しんふおにい・生活支援員
②見学会に参加させていただいた時に、利用者さんとスタッフが楽しく笑顔で過ごしており、ここで働いてみたいと思ったのがきっかけで入職しました。

原岡 壱枝 (はらおか いちえ)



①春日寮・調理員
②以前は介護施設で調理員として働いていました。その事もあり、「皆さんに美味しい食事を提供したい。私が作る食事で喜んでもらいたい。」との想いがあり、一れつ会に入職を希望しました。どうぞ、よろしくお願ひします。

藤原 祐仁 (ふじわら よしひと)



①春日寮・生活支援員
②実習中に利用者の方々との触れ合いや支援方法を学んでいく中で障がい者福祉への魅力を感じ、入職を希望しました。

山田 寛晃 (やまだ ひろあき)



①青葉・生活支援員
②一れつ会でボランティアやインセンティブなどを経験して入りたいと思い、面接を受けました。持ち前の笑顔や元気で、利用者の方や職員の方々と一緒に過ごしていきたいと思います。

森田 亞希子 (もりた あきこ)



①青葉・生活支援員
②再び一れつ会で働くことに感謝しながら、利用者の方々と一緒に楽しく活動できたらと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

寺岡 由枝 (てらおか よしえ)



①いこいの家・給食部
②以前、ヤクルトで一れつ会にお世話になり、その時のご縁で、給食部で働かせていただくことになりました。早く仕事に慣れ、みなさんに美味しい食事を提供できるよう頑張ります。

内部研修報告 ノーリフティングケア

★ノーリフティングケアとは★

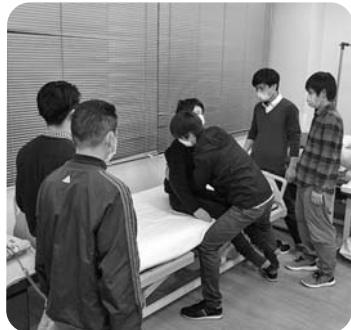
介護する側もされる側も双方において安全で安心な、「抱え上げない・持ち上げない・引きずらないケア」をノーリフティングケアと呼びます。身体の間違った使い方をなくし、対象者の状態に合わせて福祉用具を有効に活用し取り組む事が必要です。ただ福祉用具を使うことが目的ではなく、双方の健康的な生活を保証できるケアを実践する事を目的としています。

★ノーリフティングケア普及に向けて★

一れつ会においても、ノーリフティングケアの導入に向けて、プロジェクトチーム5名の職員が高知県で行われたノーリフティングケアの研修に参加しました。

更に、一れつ会では研修に参加したプロジェクトチームの職員が内部研修を開催し、全職員が積極的にノーリフティングケアの習得に向けて取り組んでいます。参加者がそれぞれモデルになり介助される側を体験したこと、実際に研修を受講した職員からは、「従来の介助で感じていた利用者さんの負担を自らが体感でき、介助方法を見つめ直すよい機会になった」「今までの介助方法よりもする側もされる側も楽になった」といった意見が多く聞かれ「是非取り入れていきたい」と前向きな反応を示しています。研修を通して職員の介護技術や意識の向上を図り、ノーリフティングケアを一れつ会でも普及させることで、利用者の皆さんに安心して受けられる介助を提供しつつ、職員においても腰痛予防等、安心して働ける環境づくりを目指していきます。

(いこいの家 園田 昂太)



昨年のボウリング大会では見学された利用者が、「今年は投げてみたい」と言われ、2ゲームを投げ切ることができました。また、今年初めて参加された利用者は、最初はボウリング場 자체の雰囲気に戸惑つている様子もありましたが、次第に慣れ他の人の投げ方を手本にしたりモニターを見てどこを狙うか相談したりと満喫されていました。

利用者さんも支援員もみんなの笑顔が絶えな
い盛り上がったボウリング大会となり、しんふ
おにいに向かう送迎バスの車内では、「また来
年も行きたい」という声が自然と上がりまし
た。

(しんふおにい 宇田 隆志)



2月6日（木）、「福山パークレー
ン」さんで、毎年恒例の『しんふおにい
ボウリング大会』を開催しました。

みなさん、投球した後にピンが倒れる
と、とても喜んでいました。ストライク
やスペアを取ると、「ストライク！」「
スペア取った！」「やったね！」と歓
声が上がり、またガツッポーズをして喜
びを表現していました。利用者さん同士
や支援員と笑顔でハイタッチをする場面
も見られ、レーンごとにとても楽しんで
いる様子が見られました。普段のしんふ
おにいで活動班とは異なるメンバーで
しっかり交流を図りながら、楽しんでお
られました。

目指せ！ストライク!!
しんふおにいボウリング大会

せんだんの家 土曜日課

ちくわ作り



せんだんの家で行っている「土曜日課」の活動について紹介いたします。せんだんの家では、毎月1回土曜日に利用者さん・支援員が一緒になつて楽しめる様々な活動を行っています。

今回は、外出企画として「株式会社 阿藻珍味 鞆の浦鰯匠の郷本店」へ行き、「ちくわ手握り体験」をしました。普段土曜日課に参加されていなかつた利用者さんも外出企画という事で参加して下さる方が多くいました。現地に着くまでの車内でも利用者さん同士で、「どんな所かな」「どんなことするのかな」と楽しく話をされている方が多く、待ち遠しいといった雰囲気でした。



現地に着いてからは、お店の職人さんの指示に従いながら、さつそく調理に入り、皆さんちくわの生地を思い思いに竹に巻きつけました。焼き上がるまでの20分間は館内の見学をさせてもらい、待ち時間も楽しく過ごすことができました。

焼き上がったできたてのちくわは想像以上にアツアツで、皆さんフーフーしながらゆつくりと美味しそうに食べられていましした。

今後もせんだんの家で、みんなが一緒になつて楽しめる活動を企画していきたいと思います。

(せんだんの家 矢田 賢二)

地域美化活動・ウォーキング

地域とのふれあい



2月15日（土）、春日地区では、春日学区福祉を高める会、春日学区自治会連合会、家族会を始めとした地域の方々にご協力を頂き、地域美化活動・ウォーキングが開催されました。当日は肌寒い天候となりましたが、春日寮・青葉・地域の方、総勢90名がスタートの合図で元気に春日寮のグラウンドを出発しました。

先ずは2コースに分かれて、春日寮・青葉周辺のゴミ拾いを中心とした美化活動に取り組み、その後は春日公園内で、個々の体力に合わせたコースを選択し、ウォーキングリレーを行いました。各ポイントでは、地域の方がカーディにシールを貼つて下さり、利用者さんは「たくさんシールを貼つてもらつたよ」と、嬉しそうな声が聞かれました。

終了後には春日寮のグラウンドに集まり、参加者みんなで豚汁とみかんを食べながら、地域の方々と普段の生活の中での出来事などを笑顔で話し、ふれあう姿がありました。このような行事を通じて、地域の方とふれあう事の大切さを学ぶことができた貴重な一日となりました。

ひづみ 平林 綾香

現地に着いてからは、お店の職人さんの指示に従いながら、さつそく調理に入り、皆さんちくわの生地を思い思いに竹に巻きつけました。焼き上がるまでの20分間は館内の見学をさせてもらい、待ち時間も楽しく過ごすことができました。

焼き上がったできたてのちくわは想像以上にアツアツで、皆さんフーフーしながらゆつくりと美味しそうに食べられていましした。

今後もせんだんの家で、みんなが一緒になつて楽しめる活動を企画していきたいと思います。

(せんだんの家 矢田 賢二)



ひづみ 余暇外出

みろくの里



2月9日（日）、グループホームいずみでは、「らぽーる」の4名、「湯野ホーム」の2名、職員2名の計8名でみろくの里へ行ってきました。この日は良い天気に恵まれ、外出日の一日でした。

みろくの里内の遊園地では、一人ひとり乗り物を見て、乗りたいものの選ばれていました。「この乗り物は怖いわ。」と、スピードの出る乗り物は敬遠されましたが、観覧車を見ると、目をキラキラさせて「乗る！」という声が上がりました。観覧車にいざチャレンジ!!ただ、動いている観覧車の動きに合わせて観覧車内に乗り込むのは難しく、「せーの。」と声を合わせて2台目で成功。挑戦して成功し、お互いの顔を見合いながら「やつたー！」と笑う顔は、とても素敵でした。

昼食は園内のレストランで、カツカレー・ラーメン、とんかつ定食など、自分の好きなメニューを選んで食べました。

午後からは、「いつか来た道」を散策し、帰路に着きました。

帰宅後は、疲れた様子も感じられず、皆さん「行つて良かったわあ。」と終始笑顔で、みろくの里での話で盛り上りました。

その後も、職員が訪問する度、部屋に飾つてある集

合写真を見ては、「楽しかったよ。」「また、行きたいね。」と、笑顔で話しかけて来られています。

利用者のみなさんの表情や楽しく話す様子を見て、「ぜひ、また笑顔あふれる余暇外出を行いたいな」と感じました。



利用者のみなさんの表情や楽しく話す様子を見て、「ぜひ、また笑顔あふれる余暇外出を行いたいな」と感じました。

(ひづみ 松浦 玲子)

脚力アップ！いつまでも元気な身体を目指して！



この度しんふおにいでは、公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会（JAIF）A様から、利用者の方々の体力づくりと脚の筋力をつけることを目的にルームウォーカー2台とエアロバイク2台を寄贈して頂きました。JAIFとは、生命保険会社の枠を越えて営業職の方が集まり、生命保険の役割を伝えたり、広く社会に貢献する活動を行ったりしている団体で活動の一つとして、「愛のドリーム基金」といわれる募金活動を行っています。この「愛のドリーム基金」活動は、集めた募金で全国の福祉施設が必要としている物を寄贈する活動で、これまでにも多くの



福社事業所に寄贈され福社事業所の活動に貢献しておられます。

2月13日（木）しんふおにて行つた贈呈式では利用者を代表し、自治会会長の吉本良江さんが「バドミントンで中国地区大会に出る事を目標としており、ルームランナーを使って足の力をつけたいです。エアロバイクを漕ぐとだんだんと楽しくなり、雨の日でも運動ができるので嬉しいです。みんなでたくさん使って目標を達成したいです。ありがとうございます」として、吉本さんから感謝の言葉がありました。

山田会長の寺田様からは、「募金して下さった方が思いがこもっているので大切に長く使って欲しい」とお話をありました。現在、しんふおにては、日課の中でルームウォーカーやエアロバイクを使った運動や、ストレッチやラジオ体操、レクダンスなどを活動班ごとに工夫して行っています。すでに成果があらわれています。利用者と職員が一緒にになってこれからも楽しく健康を維持していきたいと思います。

（しんふおにい
山田 仁美）



松尾貴臣「ホスピタルライブ」を開催

春日寮

1月17日（金）に春日寮にて、シ

ンガーソングライター松尾貴臣さんのホスピタルライブが開催されました。松尾貴臣さんは車一台で全国の病院や福祉施設を回り、これまで3,000公演以上されて

いるシンガーソングライターです。月に加茂ブロックと三吉ブロックに来て下さいました。この度は春日ブロック

に来てください、ライブでは春日寮・青葉の利用者と職員、地域の方など約80名が松尾さんの楽しい

ライブを鑑賞しました。松尾さんは車一台で一緒に歌つて下さるなど、非常に盛り上がり、ライブとなりました。

（春日寮 小川 邦子）



ありがとうございました

（12月～2月）
(順不同)

●ご寄付

・河本 朱美様

●御祝・御礼

・(株)QOLサービス様
・福山平成大学バレーボール部様
・かぐら 中谷 純様

●ご寄贈

・出張専門・訪問福祉理美容サービス はぴねす様

・徳永製菓株式会社様

・公益社団法人
生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会様
・(株)ダスキンニコニコ様
・信菱液化ガス(株)様
・松建内装(株)様
・JFE地域連携会様
・(株)吉野設計様
・カルトンアイ様
・三ナミ山光亭様

・中国短期大学様

・安原商店様
・三宅金属様
・近藤 千賀子様
・林 邦子様
・立山 千春様
・岡田 大輝様
・木和田 武様
・田邊 敦哉様
・岡 芳令様

・井之上 公明様

・前原 チカ子様
・篠原 時子様
・福田 修兵様
・小田 哲司様
・高橋 肇記様
・藤井 浩二様
・大樂 育実様
・古閑 英親様
・川上 篤美様

・甲斐 幸子様

・福田 ミツ子様
・渡邊 幸子様
・山田 俊乃様
・竹谷 真穂様
・尾崎 あゆみ様
・田中 文乃様

実習生・就業体験実習・職場体験・ボランティア・見学（12月～2月）

●実習生

（加茂地区）

・中国短期大学様

・山陽学園様

・福山成大様

・中国短期大学様

・中国短期大学様

（三吉地区）

（春日地区）

（加茂地区）

・広島県立福山北特別支援学校様

・岡山県立西備支援学校様

8名

1名

6名

4名

4名

3名

1名

（三吉地区）

（春日地区）

（加茂地区）

（春日地区）

（三吉地区）

（加茂地区）

（春日地区）

・広島県立福山北特別支援学校様

・広島県立福山北特別支援学校様

・広島県立福山特別支援学校様

・日下 清美様

2名

1名

1名

●ボランティア

（三吉地区）

（加茂地区）

（春日地区）

（加茂地区）

（春日地区）

（三吉地区）

（加茂地区）

桜とともに春の季節 桜 ~肌で感じて~

暖かいと感じる日が多くなり、羽織るものも少し薄手になるこの時期、桜の花が目にとまります。桜には、刹那に散りゆく儂さと思わず見惚れる美しさがあります。

例年は、地区ごとに桜の下で美味しい料理を囲み、利用者とご家族、職員がにぎやかな花見会をしています。しかし、今年はコロナウィルス感染予防のため、少人数で散歩がてら事業所の近くの桜を眺めました。短い時間ではありましたが、利用者の皆さんは「春が来たね」と、桜の美しさと久しぶりの外出に嬉しそうな表情を見せていました。

(春日寮 横山 悟)

加茂地区



三吉地区



春日地区



『手作りの店 ほっと』で第12回ワークショップを開催しました。

2月9日（日）、フジグラン神辺店2階にある『手作りの店 ほっと』にて、第12回ワークショップを開催しました。2月はバレンタインデーにちなんで“フェルトでチョコレートのマグネット”を作りました。参加された方は、自分好みのよいしそうなチョコレートをフェルトで作り、楽しまれていました。また、参加された親子の中には「お父さんはチョコレートが苦手なので、これをプレゼントできる。このようなワークショップがあって良かった。」と喜んでくださいり、スタッフの私たちもうれしい気持ちになりました。

(ウイズ 岡山 恵美)



親子で参加し、
楽しめて
いました。



お客様が作られた
作品の一部です。
ラッピングすると、
さらにステキな
プレゼントに
なりました。

一れつ友の会の会員になってください

一れつ友の会は、社会福祉法人「一れつ会」が、運営する施設や将来計画している施設の運営に協力し、心身障がい者福祉の向上と福祉教育を通して、互いに助け合いの社会づくりを目的としています。

活動推進のために、この会の目的をご理解頂き、友の会への新加入・ご更新をお願いいたします。

○普通会員 1口 500円／月 ○協力会員 お気持ちに応じて

お問い合わせ・お申し込みは一れつ友の会（せんだんの家 内）までお願い致します。TEL (084) 972-5544



「QRコード」から
過去の地域だよりを
ご覧いただけます。